

チャレンジみなと等の利用促進の取組について

1 経緯・背景

令和5年度に導入したスマートフォンアプリ「チャレンジみなと」は、高齢者が特定の施設に通うことなく自宅や地域で気軽に介護予防に取り組むことができるアプリです。

アプリでは、利用者が仲間とともにチーム内で写真を投稿し合うことや、設定した歩数目標の達成を通じて、楽しみながら健康づくりを継続できる仕組みとなっています。

また、活動状況に応じてコインが付与され、貯まったコインを寄付することで社会貢献活動にも参加することができます。コインは、チームメンバーが投稿した写真に「OK」を押した場合や、チームの目標歩数が達成した場合などに付与され、100コインから寄付することが可能です。

アプリの導入から2年が経過し、利用者数は増加傾向にあるものの、当初の目標としていた利用者の1,000人には達していません。また、寄付活動を支える協賛企業が減少傾向にあり、寄付先が不足していることから、利用者のコインを貯める意欲の低下につながっています。

こうした状況を踏まえ、利用者個人に対する新たなインセンティブの付与やアプリ機能の拡充を行うことで、新規利用者の拡大及び継続利用を促進し、高齢者の健康づくりと介護予防の一層の推進を図ります。

2 利用状況と課題

(1) 利用状況

年 度	令和6年度	令和7年度
延利用者数	292人	406人

(2) 現状と課題

利用者数の拡大及び利用促進にあたり、次の課題が考えられます。

- ・コインの用途が寄付に限定されており、継続利用の動機付けが十分ではないこと
- ・チーム参加のみの仕組みとなっているため、個人参加ができていないこと
- ・アプリの認知度が十分でないこと
- ・協賛企業の減少が見られること

3 利用促進の取組等

(1) 健康ポイント制度の導入

歩数やいきいきプラザ等への来館等の活動実績に応じて健康ポイントを付与し、みなとくPAYポイントへ交換できる仕組みを導入します。

なお、利用促進のため、健康ポイントが1,000ポイント貯まった人を対象に抽選を実施し、みなとくPAYポイントを付与する予定です。

(2)みんなと元気塾参加者へポイント付与

要支援1、2の認定を受けた人や、基本チェックリストにより生活機能の低下が見られた人(事業対象者)を対象とする短期集中介護予防事業「みんなと元気塾」の参加者に対しても、みなトクPAYポイントを付与します。

4 リニューアル内容

項目	現行	リニューアル後
インセンティブ	コインの付与	健康ポイント(みなトクPAYポイントに交換可能)及びコインの付与
対象となる活動	歩数、写真投稿等	歩数、来館等の介護予防活動
参加方法	チーム参加のみ	チーム参加及び個人参加
社会貢献	コインによる寄付 (※参考参照)	コインによる寄付(継続)

5 経費

1,402千円

<内訳>

(1) 健康ポイントに応じたみなトクPAYポイント付与 920千円

(2) 「みんなと元気塾」参加者へのみなトクPAYポイント付与 482千円

6 今後のスケジュール(予定)

令和8年 8月1日 広報みなと8月号への掲載(みなとほほえみ月間)
 9月1日 「チャレンジみなと」アプリリニューアル
 9月1日から令和9年1月31日まで
 健康ポイント及びみなトクPAYポイント付与期間
 令和9年 2月末 抽選会及びみなトクPAYポイント交換

※参考 コインの付与・社会貢献について

日にち	協賛	貯まった コイン数	寄付物品	寄付先
令和6年 4月19日	ミナトホールディングス株式会社	10,000,000枚	お米200世帯分	NPO法人 みなと子ども食堂
令和7年 2月20日	株式会社明治	6,480,000枚	栄養補助食品	障害者支援ホーム 南麻布
令和7年 10月1日	森永乳業株式会社	6,400,000枚	大人のための 粉ミルク	特別養護老人ホーム (白金の森外8施設)